

1972 ~ 1973

委員会活動報告書

鹿児島西ロータリークラブ

会長報告

会長 牧田健二

本年度のRI会長ロイ・D・ヒックマン氏のターゲットは、「もう一度見直そう、そして行動しよう」でありました。東博仁ガバナーからこのテーマに対するご解説と拝聴して、地区協議会から帰ってきたのありすが、新年度会長所信として私は、ロータリーの方針を実現するために自分は何をしたらよいかを考え、各人が個人として、これを実行すれば、ロータリーは、NEW LOOKを得ることが出来るのだと申し上げました。要するにクラブ会員個人が、クラブがもう一度ロータリーの綱領に目を向けて、情性をその矛先を推し進めるのではなく、新しい自主性をもったアイデアを引き出し、そして行動を起してゆく、これこそ NEW LOOK だと申し上げました。

このような方針を伝えて、オーに親睦をとりあげました。しかも親睦から全ては開けてゆくことを強調いたしました。例会は、日々明るく、友愛は限りなく広がってゆきました。歌によってお互いが解け合い、食事によって親密の度を深め、重点的に選ばれた卓話によって知識は向上し、なごやかな隔りのないクラブムードが、盛りだぶると信じております。ロータリー情報のご努力によって会員がロータリーを漸次理解してこられました。クラブ奉仕、実績は最良のものと考えております。

出席も順調で、頭書80名を目標にいたしました。会員増強も全くそのとおり80名となり、何もかも順調に進められました。職業社会、青少年、国際の四大奉仕も目を見る実績を残さ。会報雑誌はすっかり新しい読みやすいスタイルとなり、次週予告欄の充実、会員寸話のスペースなど新しい考案を引き出しておられます。

また、本年度は、いろいろなことがあったと想いを新たにいたしております。当クラブがホストとなり、キース君・イボンヌ嬢2名交換学生を受入れ、見事にその責務を果たしました。9月16日に

当クラブが2番目のインターアクトクラブとして、鹿児島高等学校のクラブの認証式が行われました。今年に於いて、2月25日には、当クラブがホストとなり、3173区鹿児島県南分区インターシティゼネラル・フォーラムが行われ、多大の成果をあげました。3月22日、23日の記念日を1日繰上げて、当クラブ創立10周年記念式典を挙行し、クラブも早業10年になったのかと感激を新たにしました。次へ進みます。昨年加世田クラブ、枕崎クラブが当クラブのホストで結成されて以来順調に発展し、それぞれ3月8日、3月19日に相次いで国際ロータリーへの加盟承認を受け、5月13日(日)に親クラブと3クラブ合同の認証状伝達式が開催されましたが、2クラブの外部拡大によって拳任の機会を増強し得たことは、特筆に値するものがあります。6月27日は、当クラブ国際ロータリー加盟承認日ですが、6月14日には、クラブ結成の昭和38年3月23日以前から、一方ならぬご指導を戴いた元鹿児島クラブ事務局長(現谷山クラブ会員)佐々木申吉氏の思い出話をお聞きして懐かしい友愛の一時を過しました。

以上のようなクラブの活動が行なわれたのでありますが、これら振り返って展望するとき、そのアイデアにも、その行動にも、何新しい、前向きな姿勢が見られ、しかも潤いのある愛情に満ちた友情が感ぜられてならないのであります。確かにもう一度見直して行動し得たと思うのであります。これらはすべて皆様様の心からのお力添への賜でありまして、会長を辞するあたり心からお礼を申し上げます。会長として多大な努力の足らなかつたこと、勉強の足らなかつたこと全く申訳な思っておりますが、何卒ご容赦を戴きたいと思つた次第であります。

最後に、この一年間をあたにかくご指導等を賜りました皆様に深く感謝を申しあげて私のお礼の言葉と致します。

幹事報告

幹事 浜田 馨

会員数も80名に達し、創立10周年を迎えたこの一年間を、
どうにか無事に楽しく終る事が出来ます事は、会長初め各
委員会の御協力、御支援の賜と厚く御礼申し上げます。
例会での握手、色々な形のファイヤサイドミーティング、ニヶ月に
1回の委員会等、失敗を恐れず色々な事を行って見ましたが、
御批判を頂きにいと書いております。

1. 本年度会員数

期首会員数	73名
退会者	2名
入会者	9名
現在会員数	80名

2. 出席率

7月	99.63%	8月	99.46%	9月	100%
10月	98.68%	11月	98.68%	12月	98.72%
1月	98.71%	2月	100%	3月	99.5%
4月	97.12%	5月	94.2%		

3. クラブ内会合

クラブ協議会	6回
クラブフォーラム	4回
ファイヤサイドミーティング	4回
委員長会	6回
家族会	2回

4 主な行事

- 47年 9月16日 鹿児島高等学校インターアクト認証式
- 9月21日 観月家族会(城山観光ホテル)
- 9月28日 NHK鹿児島放送局で職場例会
- 10月18日 加世田仮クラブ結成式
- 10月21日 老人医療施設ひばり療護園慰問
- 11月16日 ガバナー公式訪問
- 11月25日 才373区地区大会(於宮崎市)
- 5
26日
- 12月4日 枕崎仮クラブ結成式
- 12月21日 クリスマス家族会
- 48年 2月25日 鹿児島県南分区インターシティ・ゼネラルフォーラム
- 3月22日 創立10周年記念式典
- 5月13日 加世田・枕崎・穎娃クラブ合同パーティー
(於枕崎市)
- 6月9日 才373区地区協議会(於鹿児島市)
- 5
10日

S. A. A 報告

S. A. A. 新福均

副S. A. A 古木圭介

基本方針

1. 例会の雰囲気をもっと明るく和やかなものとし、フラブ訪問者及び来賓に良い印象を与える様努力する。
2. ニコニコBOXの増収を計る。

実績

1. ニコニコBOXについては親睦委員及び会員より情報の提供をお願いして収入増加出来ました。
2. 例会でロータリーソングのあと、当日、御出席のヒジター並びに会員の方々に握手をお願いしました。会員相互の融和と親睦が一層促進されたと思います。

反省

座席の位置を出来る限り変更したりロータリーソング以外の歌をもっと歌ったにして和やかな雰囲気と会員相互の親睦を計るべきであったと思います。

会計報告

会計 有菌 敷男

基本方針

クラブの財産及び資金を確実に保管し、その収支状況常時明らかにして各委員会活動が円滑に行なわれるようにしたい。

実績

本年度は会員9名の入会に依り入会費及び年会費収入増加がありこれ以上に各委員会のご協力で支面も当初予算の範囲内で成果をあげられました。

反省

理事会や委員長に毎月の収支状況を報告して委員会活動に協力すべきではなかったかと反省して居る。

クラブサービス報告

副会長 川村 洋

実績

1. 内部広報の充実は、かなり達成された。
委員長会議の開催による情報交換は充分の効果をあげ得なかった。
2. 親睦も次第に効果がめがりつつあるが今1歩の感がある。
3. 外部拡大に際して枕崎、加世田R.Cが誕生したことは特筆に値する。

出席奨励委員会報告

委員長	久保 政次
委員	田平 礼章
〃	中村 俊雄
〃	竹野 良季
〃	川路 清高

基本方針

設立以来の伝統である出席率の優秀さを更に受け継ぎ、100%出席を目標として更に一層の努力を重ねる。

特に本年度はクラブ設立十周年に当るので10年連続出席者の努力を讃え、全会員の気持を新たに出席率の向上に努力したい。

実績

1. 連続出席者に対する表彰を従来に引き続き実施し、特に10年連続出席者には特別バッチを贈呈してその努力を讃えた。
2. 上級会合への出席を関係各委員会と連絡を取り奨励した。
又西クラブがスポンサーとなりて設立した加世田、碓崎、穎娃の三クラブの合同チャーターナイトへは出来る限り会員並びに家族が出席する様勧誘した。
3. 欠席の多い会員及び新入会員に対するPRをくり返しメークアップを奨励した。

反省

大体に於て従来通りの良い出席率を確保出来た様に思われるが、但し上級会合への出席は依然としてあまり良くない。この点、更に努力を重ねる必要がある。

職業分類委員会報告

委員長	新福 栄熊
委員	山口清次
〃	塘 一郎
〃	岩田 太一
〃	山本 友博

基本方針

1. 当クラブ区域の職業分類調査を行なう。
2. 充填及び未充填の職業分類一覧表を作る。
3. 未充填部分については当クラブ全会員に協力を求めその充填を計る。

実績

充填 未充填職業分類表を作成した。充填すべき目標掲示表共覽した。

本年度は下記の新入会員があった。

岩男秀彦, 宮内信美, 井形昭弘, 瀬戸山克己, 宇治野純
下曾山鉄雄, 有村良男, 前田好文, 中尾正昭

尚 退会者は 風間梯次, 若松新一 の二人であった。

従って 現在員は 80人 (= 73人(当初) - 2人(退会) + 9人(入会) である。

上記新入会員で下記の職業分類が充填された。

倉庫業, 金鉱石採掘, 脳神経科医, 下駄配布, 弁護
レストラン, 洋菓子製造, 給水, 装飾材料配布。

会員選考委員会報告

委員長	米倉 秀雄
委員	藤守 辰造
〃	岩元 正二
〃	徳田 基
〃	徳留 栄次

基本方針

区域内に居所又は事業所を持って居る方々の中から各界の代表的な人、出席の出来る人、ロータリーの奉仕の精神を理解出来る人等を基準として選考する。

実績

選考入会した新会員 9名。

反省

文体 予定通りに行って居る。

会員増強委員会報告

委員長	西郷 隆永
委員	林 幸光
〃	土橋 英夫
〃	池田 広
〃	水瀧 清治
〃	前田 好文

実績

本年度の増加目標は 80名であったが、会員の積極的な協力によって会員数は、順調に増加し、目標を達成した。尚新入会員は 9名、退会者は、おすかに 2名であった。

反省

未充填職業分類表の一層の活用が必要と思はれる。

プログラム委員会報告

委員長	岡元 健一郎
委員	河井 時義
〃	高井 敏治
〃	下野 隆三
〃	原田 隆造

基本方針

1. ローターの例会にははわい品位をもったプログラムを編成
2. 会員各位が興味をもち、かつ有益であるように講師、テーマについて検討する。
3. 会員相互の認識を深める意味で、できるだけ会員のプログラムを盛りこむ。

実績

1. 現在までのクラブ行事、卓話の実績は別表のとおりである。
2. プログラムの編成、講師の推薦、会員卓話の参加等、他委員会及び会員各位の積極的な協力がえられた。

反省

外部からの講演者には、会長のサイン入りの礼状と講演録が掲載された週報を送ってはどうであろう。

“本年度のプログラム”

	卓 話	職 業	卓話者
7/6	クラブ協議会	R.M.6:00～ 鶴鳴館	
13	陸運事務所の業務と現状	陸運事務所長	横内 康
20	いよいよ難病について	鹿大医学部教授	井形 昭弘
27	鹿児島市の都市計画の現状	鹿児島市都市計画部長	山口 哲夫
8/5	交換学生挨拶	南真一、山王千津子	浅平美津子
10	南九州の気象	鹿児島気象台長	鎌本 博夫
17	日中問題について	MBC報道局長	小原 政雄
24	クラブ工芸の話	県立木材工業場長	藤本 猛
31	1977年における自動車普及状況 私の紹介	会 員	新原 剛 福田 正臣
9/7	円切り上げについて	鹿銀専務取締役	有馬 啓
14	クラブフォーラム	(国際奉仕)	
21	観月家族会		
28	職場訪問	(NHK支局)	
10/5	R財団奨学生帰国挨拶	R財団奨学生	松木 祐子
12	胃・集団検診の話	鹿大医学部第2内科	種子田 哲郎
19	クラブフォーラム	(青少年奉仕)	スライド
26	万代サテミーティング	クラブ10周年について	
11/2	クラブ協議会	公式訪問を控えて	
9	ヨーロッパ雑感	会 員	林 幸光
16	公式訪問例会		

1/23	林会		
30	クラブ協議会	地区大会出席報告	
2/7	地区大会出席報告 「ター」-「時」について	会 員	柴山一雄
14	クラブフォーラム	(社会奉仕)	スライド
21	クリスマス家族会	PM6:00~ 鶴鳴館	
28	ロータア外半期報告	R.A.C会長	埜 俊孝
1/4	新年随想	会 員	久保田彦穂
11	クラブ協議会		
18	大気汚染の問題点	鹿大医学部教授	脇阪 一郎
25	年次総会	次期役員理事選出	
3/1	養殖漁業の話	県水産試験場長	茂野 邦彦
8	友代会休ミ・ティンク	P.M6:00(委員会別)	
15	クラブフォーラム	(職業奉仕)	スライド
22	自己紹介と所感	会 員	岩男 秀彦
3/1	都市に於ける日照問題	会 員 (その1)	塘 一郎
8	〃	〃 (その2)	〃
15	会員卓話	会 員	瀬戸山克己 宇治野純章
22	創立10周年記念式典	6:00~ 鶴鳴館	
29	報の福祉と国民健康保険	鹿児島市国保課長	篠原 東
4/5	鹿児島県の畜産について	〃 県畜産課長	楠元 薩男
12	尊属殺判決に關連して	会 員	宇治野純章
19	歴史の教訓	国史研究所長	山上八郎

4/26	老人の生きがい	緑が丘病院長	岡谷良武
5/3	休会		
10	品種改良の話	県農業試験場長	朝隈純隆
17	最近の株式市況について	日興証券鹿支店長	鹿取幸太郎
24	アツオ料理歳時記	郷土料理研究家	石神千代乃
31	市街地交通規制について	市警交通課長	山口喜一
6/7	アヤサ休ミーテニク	RH600 (委員会別)	
14	「私の故郷」	交換学生(スライド)	キース・デッカー 休ム・デビス
21	地区協議会報告		
28	クラブ協議会	委員会報告と反省	

広報委員会報告

委員長

岡山 栄

委員

岩元健吉

〃

桜美義明

〃

宮内信美

基本方針

地域社会にロータリーの奉仕活動の実態を伝達し、ロータリーを理解させるのに役立たせると共に内部広報にも配慮する。

実績

10周年記念行事、ロータリー賞授興式、平川動物園植樹寄贈等と当クラブの奉仕活動の状況を報道機関を通じて広報した。

反省

1. 年度中途に委員長を交代したが特に平常の協力が足りなかったことを痛感した。
2. 日頃から報道関係の人々と親睦をかさねておく必要があると思った。

親睦活動委員会報告

委員長

池田稔

委員

徳沢紀生

〃

原 三部

〃

木治屋克己

〃

平田武雄

〃

内山光男

和田吉人

新原剛

岩男秀彦

下曾山鉄雄

基本方針

- (1) 会員数の増加に伴って、旧会員と新会員との間にギャップが生じないように特に努力する。
- (2) 会員同志とその家族を含めての親睦を深める。又、他クラブとの親善の行事を行う。

実績

会員同志親睦を深めるために、ゴルフ大会を計画しました。1人でもたくさんの人に出席してもらうため6月15日実施と決定。

会員及び家族の親睦を深めるため、クリスマスパーティ 観月会を実施しました。

プログラム委員会と連絡をとり乍ら新入会員の卓話を実施した。

反省

親睦委員長を1年務め、いろいろと計画だけは組んでみましたが、充分に出来なかったことを深く反省いたしております。

ロータリー情報委員会報告

委員長

岩元基

委員

光吉正昭

福田正臣

櫻美四郎

井形昭弘

宇治野純章

基本方針

1. 新入会員にロータリアンとしての特典義務を理解させる。
2. 会員にロータリーの歴史、綱領及び活動についての知識を与える。
3. 会員に国際ロータリーの運営方法について知らせる。

実績

新入会員に対してロータリアンとしての特典義務を説明し、理解してもらったと思う。

反省

炉辺会合での新入会員の指導が不充分であった。
新入会員だけの会合をもちたいと思っただが、実施できなかった。

会報雑誌委員会報告

委員長

鮫島志芽太

委員

久保田彦穂

柴山一雄

佐伯寿郎

大森道信

基本方針

ロータリーの出来事(特に奉仕活動)や情報、プログラムを記事化し、また関係出版物への注意を喚起し、①出席を高め、奉仕活動を強め、会員の資質の向上に役立つ②クラブ間、会員および家族の間、地域間の連繫、親善に寄与する。

計画

1. 週報その他の編集を刷新する。
2. 諸プログラムの予告を大きく扱う。
3. 理事会、委員会、その他会員の奉仕活動を注意深く扱う。
4. 「ロータリーの友」誌や「ロータリアン」誌や地方紙などの関連記事、その他の情報への注意をよび起す。
5. クラブ10周年記念誌を発行する。

実績

1. 上記計画の項目のほとんどを実行した。たとえば週報に卓話の予告、卓話者の紹介を大きく取り上げ、会員寸話を掲載し、興味深く、親しみやすくした。
2. 事前記事を強化して結果、例会、行事、諸活動への参加意欲を引出しつつあると思う。
3. 会員が卓話を筆記し、週報に要約して載せることを実行した。これは継続しにくいことだったが、会員が自発的に奉仕したことを記しておくにいい。
4. 理事会、委員会などによく連繫して、その活動を記事にするという計画はうまくいかなかった。したがって週報がクラブの歴史記録源になるという役割を十分果たせなかったことを反省している。

職業奉仕委員会報告

委員長

若松 宇治彦

委員

渡辺 匡

安楽 慶一郎

中村 善治

小池 鉄太郎

基本方針

奉仕こそ R.C. の重要な理念と思はれる。而も奉仕とは、まず自分の職能を通じてこれが実現をばからねばならない。これが自然であり且つ必要であらう。私達は昔から云われる職域奉公と云う使命観の再認識が必要かと思う。

実績

- ① NHK 鹿児島支局を訪問して、現代社会に重大な役割をもつ職場の見学をした。
- ② NHK の優良従業者の表彰
- ③ スライドによって職場奉仕の事例研究

反省

現在、大企業の買占め等非社会的行為が伝えられる。一般市民の企業に対する哲学の問題ではないか？かかる観点から(企業倫理)とか(働く意味の哲学)などについて講師を招き勉強会を開催したいものであったが、実現出来ずに残念であった。

社会奉仕委員会報告

委員長
委員

三角桂次郎
鍋島 宏
島津 忠丸
福田 敏之
川上 鉄太郎
瀬戸山 克己
有村 良男

基本方針

鹿児島市を住みよい都市にする様、関係諸団体や当クラブ委員会と連帯を密にしてその問題点を研究し、その解決策を提言、援助し又周囲の町村との親睦を計り理解を深める。

実績

- ① 身障者スポーツ大会に協力援助した。
- ② 太陽国体に会員各自協力すると共にそれに伴う行事先の老人ホームに援助した。
- ③ ローリー賞を贈呈した。
- ④ 10周年記念行事として平川動物園にニコニコBOXより寄贈して貰った。
- ⑤ 交通安全、火災防止に協力した。

反省

計画は沢山あったが、計画倒れになった感があり、委員カとして深く反省している。

青少年奉仕委員会報告

委員長

高義朗

委員

川田恵一
坂口洋右
永井利承
有田郁男

基本方針

ロータリーの活動を通じ、青少年との交流を計り、青少年が健全なる成長をするよう、之を援助する。

業績

1. 9月16日鹿児島高等学校インターアクト認証式。
2. 373区第1回R.A.C地区大会参加。
3. インターアクト第8回年次大会47年8月5、6、7日参加。
(於阿蘇国立青年の家)
4. 7月1日県下インターアクトクラブ連絡協議会出席。
5. ロータアクトの例会に出席(毎月2回)
6. ロータアクトのバレーボール大会参加。

反省

ロータアクト、インターアクトのあり方を十分検討すべきに思う。

魅力あるクラブにするには如何にあるべきかを。

国際奉仕委員会報告

委員長

小園正人

委員

池口恵観
佐伯延次郎
小山幸義
中尾正昭

基本方針

国際理解と親善及び平和の増進を図るために
当クラブの全会員が国際奉仕に熱心を持って参加
できるように努めたい。

(1) 行事報告

47年7月13日

交換学生3RC合同委員会
新年度の予算案、行事計画の審議

47年8月10日

受入懇談会

47年8月21日

福岡空港で2名の交換学生を引き取る(島名宮崎小園)

47年9月2日、3日

才一回オリエンテーション 於熊本市立ユースホテル
(島名宮崎小園)

47年9月5日

来年度派米高校生選考説明会

47年9月16日

商業高校を市内インターアクトクラブ員と二人の
交換学生を囲んで懇談会

47年9月21日

次年度派米高校生の選考試験の実施。

47年10月10日

1973-1974年度派米学生の地区選考

伊東真理(中央高校) 久保俊一(鹿高校)

が選ばれた。

47年11月25日. 26日
地区大会出席

47年12月20日

加世田坂737不訪門

47年12月26日. 27日

米二回木口ニ于-332 於柳川(島名小園)

48年1月18日

出水口-91-777不訪門

48年2月14日

伊集院口-91-777不訪門

48年3月13日

指燈口-91-777不訪門

48年3月19日. 18日

米三回木口ニ于-332 於雲仙NBC口

(島名. 春田. 小園)

48年3月29日

交換学生合同委員会

行事中間報告

48年4月10日

加治木口-91-777不訪門

48年4月12日

交換学生合同委員会

次年度ホスト731-選定0件

次年度受入学生承認0件

48年5月7日~13日

地区旅行

48年6月7日

交換学生合同委員会

決算中間報告, ホストファミリーの件. 新年度予算案

48年7月7日

平日交換学生の送別会

(二) 交換学生受入家庭

学生	キースデーガー	イボンヌデービス
受 入 家 庭	1. 小園正人(西RC)	宮崎淳弘(麻RC)
	2. 古木圭介(西RC)	岡小憲二(麻RC)
	3. 池田稔(西RC)	若松吉彦(南RC)
	4. 春田修三(南RC)	岡村俊一(麻RC)
受 入 校	県立中央高校	純心高校

(三) ① バングラデッシュの子供への救済金として財団法人
日本ユニセフ協会に送金

② フリボンの水害救済義援金として地区ガバナー口座
へ送金

(四) 47年9月14日の例会「よりよき世界を創るために」の
スライドを上映世界理解週間中の世界社会奉仕
についての認識を深めた

(五) ホストファミリーについてのアンケート集計結果

① 現在受入れ家庭に成って良い 0

② 将来は受け入れられる 18

③ 現在. 将来共受入れられない 31

計49

反省

- (一) 東南アジア留学生の例会招待と親睦を何かりたいと考えたが実施できなかった。
- (二) 全会員が国際奉仕に関心を持って参加出来る様考えたが努力不足であった。

ロータリー財団委員会報告

委員長 池口恵観

基本方針

1. ロータリー財団活動の趣旨と現状を会員に充分理解してもらう。
2. クラブの財団寄付金を増加する。
3. ロータリー財団奨学生を推薦する。

実績

1. 百万ドル食事も予定通り行なわれた。
2. ロータリー財団奨学生として 2人推薦して、1人は正候補としてロータリー財団に推薦することに決定した。